

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	アール・ティ・エンジニアリング株式会社
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景 職場活性化を考える中で社員が働きやすい職場環境を作っていきたいと思っていました。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 2022年10月に創設された為、労務担当者も説明できるだけの知識がなかったため育児休業についての資料を作りながら知識をつけていきました。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 男性の育児休業について取得したいと思っても言い出せないというのが現状としてあるので、家族が出産した方に説明を行い推奨しています。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 業務を整理し、部門内で分担・フォローしました。 また、足りない部分には派遣社員を入れ対応しました。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 社内で育児休業についてのパンフレットを作成し、情報を発信しています。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 30日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 初めてのこどもで妻も私も不安を抱えていたところ会社から勧められ取得しました。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 慣れない育児と家事を妻が一人でこなすのは大変な為、妻のサポートができてよかったです。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 自分の抱えている仕事を洗い出し、どう仕事を振り分ければ仕事が円滑に進むか部門内メンバーと話し合い、考えました。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 1か月間育児に専念でき不安も少しは取り除けたと思います。その分安心して仕事に取り組むことができています。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 育児休業を取得することにより、妻とこどもと過ごす時間を作ることができるのはもちろんですが、育児をしている中で自分も成長できたので少しでも迷っている方がいたら取得することをおすすめします。</p>

(注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。
なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。